

## 調べたことをポスターセッションで～言語活動の充実～

### (1) 新学習指導要領から必修の項目に

新しい学習指導要領になり、各学年の学習内容で新規に加わった項目や移行された項目がいくつかある中、「生命」についての基本的な見方や概念を柱とした「動物の誕生」の内容にも変更がありました。前学習指導要領においては、魚についての内容と人についての内容はいずれか一方の選択学習でしたが、新学習指導要領においては、どちらも必修とする項目になりました。魚の学習においてはメダカを育て、観察することが多いので、学習する時期は春から初夏の間で実施することが多いようです。その学習を踏まえて、人についての学習に取り組みます。各教科書会社でも、その順番が多いようです。

### (2) 人についての調べ学習

人についての学習は、魚の学習や保健体育科「育ちゆく体とわたし」での学習を基に進められることが考えられます。既習したことを振り返り、子供たちの興味・関心に応じたテーマを決めて、調べ学習をする活動を進めていきます。総合的な学習の時間において習得した、調べる時のスキルを大いに活用させ、追求活動に取り組むことが求められます。調べるテーマについては、ある程度絞った方が子供たちにとって調べやすいと思います（例：子宮の中の様子について 赤ちゃんがお腹にいるときの様子について 赤ちゃんへのその緒の役割について など）。調べる方法として考えられることは、図書館にある図鑑、コンピュータなどがありますが、ぜひインタビューの方法を取り入れて欲しいと思います。インタビューをするために、相手にその意図を伝え、応えてもらった内容を正確に聞き、記録する。この活動も、思考力・判断力・表現力等をはぐくむための言語活動です。人とのかかわりを通して、子供たちの言語に関する能力を高めていくことを提案します。

### (3) ポスターセッション

子供たちが調べたことは、ぜひ発表活動に結びつけて欲しいと思います。上記で述べたように、新学習指導要領において、思考力・判断力・表現力等をはぐくむための学習活動として言語活動が重視されています。科学的な思考力・表現力の育成を図る観点から、理科の学習における言語活動として、科学的な概念を使用して考えたり説明したりする学習活動が求められています。それは、本単元の中に位置付けられる活動としても、高い学習効果を期待できるものであると思います。さらに発表の形態も、一方的に発表するものではなく、聞き手からの質問や意見を随時受け付けながら発表を進めていく、ポスターセッションの方がより効果的でしょう。言語活動を重視した授業を展開し、子供たちの科学的な思考力・表現力を高めていきたいと思います。



ポスターセッションに取り組む子供たち